

千葉市の鳥 コアジサシ

※「検見川の浜」での繁殖状況



↑抱卵中のコアジサシ



↑ヒナと外敵から身を守るシェルター



↑コアジサシの卵（1～3卵）

写真提供：箕輪義隆

※各レッドデータブックのカテゴリー

環境省 絶滅危惧Ⅱ類
 千葉県 Aランク
 千葉市 Bランク

分類	鳥類 チドリ目 カモメ科
英語名（学名）	Little Tern (Sterna albifrons)
分布範囲と生息時期	春に、南の国から日本の本州以南に渡ってくる夏鳥。秋に去っていく。
生息場所	海岸や河原などの砂地や砂礫地の裸地を好む。
全長	約 28cm（翼開長 約 53cm）
鳴き声	「キリッ、キリッ」あるいは「クリィ、クリィ」
説明	<p>成鳥は、腹や顔は白く、背中は明るい灰色で、頭は帽子をかぶったように黒くなっている。くちばしは細長く黄色。先は黒い。尾は白く二つに分かれている。</p> <p>幼鳥やヒナ、冬期では、色が異なる。</p> <p>エサは、カタクチイワシなどの小魚。海岸や河川などを飛びながら、小魚を探し、獲物を発見すると空中停止（ホバリング）し、狙いを定めたあと、ダイビングして捕まえる。</p> <p>砂浜や河原に、集団(コロニー)で巣を作る。卵は小石や貝に似た色をしており見つけにくい。</p> <p>カラスなどの外敵が近づくと、集団で威嚇行動(モビング)し、敵を追い払う。</p>